基礎英語R(Basic English R)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
一般科目	必修	1年	2	講義	国重　徹

【授業の概要】
英語力向上に効果がある英語多読を通して、英語の大量インプットを目指すとともに、英語を英語として和訳せずにある程度の速度で理解できるようにする。

【授業の進め方】
原則として、毎週の授業において、多読を行い、多読レポートに記録をつけていく。授業計画の1回分は50分の授業2回分を想定してある。試験は、毎回用いたテキスト以外からの英文を用いて多読、速読、内容理解力を測るものとする。ただし、後期中間試験は試験期間中には実施せず、その成績はACEの成績をもって代える。

【授業計画】	【授業項目】	【内　容】
1回	オリエンテーション	授業の進め方・注意事項・評価についての説明。 多読の仕方についての説明。
2回	オリエンテーション、辞書の使い方練習	多読活動、多読レポートの記録、辞書の使い方練習
3回	多読活動、辞書の使い方練習	多読活動、多読レポートの記録、辞書の使い方練習
4回	多読活動、辞書の使い方練習	多読活動、多読レポートの記録、辞書の使い方練習
5回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
6回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
7回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
8回	中間試験	これまでに当然身につけておくべきレベルの英文の内容把握の問題（全てテキスト以外から）を中心に出題。
9回	試験返却、多読活動	試験の返却と解説。多読活動、多読レポートの記録、
10回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
11回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
12回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
13回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
14回	多読活動、(投げ込み教材の読解：optional)	多読活動、多読レポートの記録、(英文の読解、意見レポート作成：投げ込み教材を用いた時)
	期末試験	これまでに当然身につけておくべきレベルの英文の内容把握の問題（全てテキスト以外から）を中心に出題。
15回	答案返却など	期末試験の返却と解説。多読活動、多読レポートの記録
16回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
17回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
18回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
19回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
20回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
21回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
22回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
23回	中間試験	ただし、試験期間中には実施せず、その成績はACEの成績をもって代える。
24回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
25回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
26回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
27回	多読活動、ACEの返却	多読活動、多読レポートの記録、ACEの結果返却及び解説。
28回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録
29回	多読活動	多読活動、多読レポートの記録

	期末試験	これまでに当然身につけておくべきレベルの英文の内容把握の問題（全てテキスト以外から）を中心に出題。
30 回	答案返却など	期末試験の返却と解説。成績の説明。
【到達目標】	英検準２級程度の読解力を養成する。	

【徳山高専学習・教育目標】	A2	【JABEE 基準 1(1)】	f

【評価法】	定期試験 70%（3 回の定期試験及び 100 点満点に変換した ACE のスコアの平均点× 0.7）＋多読した語数の評価 10%、多読した冊数の評価 10%、多読活動への取り組みや多読レポートの評価 10%の合計 100%。資格取得をした場合などにはさらに加点をする（ただし合計点が 100 点を超える場合は、100 点とする）。
【テキスト】	基本は、多読用教材で、学校で用意する。
【関連科目】	総合英語 IR、総合英語 IIR
【成績欄】	前期中間試験【　　】 前期末試験【　　】 前期成績【　　】 後期中間試験【　　】 後期末試験【　　】 学年末成績【　　】